

**SHIEN**  
No.5

2013 11/16

# 支縁



<http://www.kisokobe.com>



11時半には400食がまたたく間になくなる

## 神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉  
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101  
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939  
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】 阿部捷一 〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37  
Tel(0225)24-3107  
E-mail:cp.abe@royal.ocn.ne.jp

年4回 2月、5月、8月、11月  
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

## 「ありがとう!」

(社)神戸国際支縁機構  
石巻支所長

阿部捷一

「阪神淡路大震災の時の恩返しに来ました。」と軍手と長靴で、瓦礫の山に立ち向かう神戸の青年たち、いつたいこの人たちは、何者なのだろうと驚きばかりでした。自分で旅費や食事代を負担して、1000km

もの道のりを東北の被災地までやって来るのです。  
考えてみれば、阪神淡路の震災を経験していない世代です。家族から聞かれていたのでしょうか。困っている人たちの、輝きに心を打たれました。お金では買えない、尊い絆を被災地に生み出したのです。支縁の若者たち、導いてくれた代表の岩村先生に、心から、感謝いたします。

平成25年(2013年)11月14日(木曜日)  
石巻かほく

### 田・山・湾の恵み味わい住民交流

神戸の団体  
復興支援 石巻・渡波地区で秋祭り

眞がたっぷり入ったノリカキ汁が振る舞われた  
=渡波公民館

おにぎり、ノリカキ汁満喫

石巻町の田・山・湾の収穫物を味わひながら、  
吉野八重子さんたちに拍手。婦人会など  
の女性パワーによつて宴が豊かな集いに  
なる。亀山繁氏、樋口伸生住職夫妻や地元  
の記者たちも来会。阿部捷一氏の下に神戸  
からのボランティア20名(3名は船で海苔  
の収穫)は会場設定など裏方に徹する。  
提供する石鹼、洗剤がすぐになくなつてしまつたが、兵庫県からの毛糸靴下を手にして参加者は喜んだ。来年の秋祭も楽しみに、千葉幸一副会長が閉会をしめくくり、解散した。

阿部勝 渡波地域農業復興組合代表、阿部正春  
宮城県漁業青年団体連絡協議会会長が寛大  
に収穫物を提供。渡波獅子風流保存会津田  
富士義氏の演技の際、会長、鈴木健一石巻  
森林組合代表理事組合長、阿部清義大宮  
区長の三人が舞台に上がった。米谷富宏  
渡波支所長が「田・山・湾の復活」の祝辞を  
述べ、来賓席には、丹野清市会議員、木村  
製治沢田区長をはじめ、地域の区長たちが  
列席。南川鉄弥渡波事務長と、須田勝子さん  
の名司会で10時半から3時まで続く。  
小野寺脩館長による若返り体操、ひいらぎ  
会(尾形ヒサ子会長)はねっこ踊り(遊美会



サルビア沿道





# 岡山県玉野光南高校サッカー部 全国大会に勝ち残る

## - 東北勢と試合をするのは縁 -

4ヵ月前の衝撃をフランシュバッケしているような面持ちです。自分たちはサッカーで協調精神があるけれど、天災に直面したら、一目散に我先に逃げるだろうか、それとも仲間を気づかうゆとりがあるだろうか、現実の厳しさをめいめいに想起させています。門脇小学校、魚町、長浜で、仲間との会話もとぎれます。

体育会系のみんなも2年

ラマのように広がる南浜町、  
門脇町に参加者は畠然とし

ます。

東北ボランティアの厳しさ、チームワークの意識が役立つたと山陽新聞などで注目されています。

田富士義、泰子ご夫妻が若者たちの元気の良さに目を白黒されています。船に乗っていた

第28次（八月一日～四日）に参加した玉野光南高等学校のサッカー部員三年生20名がJR朝霧駅前に集合。コンパクトに荷物をまとめていました。山足悠太君が事前に部員たちと立派なカラーリーフレット冊子を作つて、持ち物を用意していました。

途中のサービスエリアではご飯がおかわりできて3、4杯平らげたり、集合時間を厳守するきびきびした姿勢に励まされます。

被災地に入ると、パノラマのように広がる南浜町、門脇町に参加者は畠然とします。

頃、入手した鯨の歯などを見て、高校生たちがドットと歓声をあげます。奥さんは植物栽培が得意であり、カサブランカの大輪が見事に咲いていました。

はだしになつて、田んぼアートの雑草抜きをします。驚いたことに、用水でどこにもつながつていなにもかかわらず、アンボなどがいることです。目を凝らしてみると、ヤゴ、貝、糸トンボもいます。コウノトリのデザインになつてきてています。近くを通る散歩の人たちも楽しんでいます。

大川小学校は3・11の際、74名の生徒、10名の教師が犠牲になりました。現在まだ遺体捜索をしています。親御さんにとってあまりにも悲劇が大きかつた地域です。

第26次が取り組んだ田んぼアートを見に行きます。津田富士義、泰子ご夫妻が若者たちの元気の良さに目を白黒されています。船に乗つて、



炎天下、険しい急斜面で下草刈りの手入れをする  
玉野光南高校サッカー部員たち

宿舎では、代表と指相撲をしたり、笑い声が絶えず、さわやかな眞のスポーツマンでした。

十二月三十一日に宮城県と対戦するのも縁です。

高校生たちは、作業を終えて、元気の湯でやつと入浴できる時も30分間のマラソン、宿舎でも逆立ち歩行など鍛錬に余念がありません。どこにそんな力が残っているのかとあきれかえるほどです。

宿舎では、代表と指相撲をしたり、笑い声が絶えず、さわやかな眞のスポーツマンでした。

大川小学校は3・11の際、74名の生徒、10名の教師が犠牲になりました。現在まだ遺体捜索をしています。親御さんにとってあまりにも悲劇が大きかつた地域です。

林業班は、森林組合の山下俊一氏に案内されました。釜谷西宮山の約0.3ヘクタールです。神戸から持参した鎌などで取り組みます。木村貞一氏（75歳）の説明に従い、大川小学校児童生徒が在学中に植樹したアオダモ、コナラ、クヌギなど近くの下草を刈り取りです。傾斜が激しく、足場も悪く、10分もすると汗だらだらです。

せん。

株式会社 チュチュアンナ  
代表取締役社長

上田 利昭

tutu.anna

**MiYOSHi**

ミヨシ石鹼株式会社  
〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341



竹中工務店

www.takenaka.co.jp

新生田川共生会

(ホームレス自立支援の会)

TEL 078-392-0327

東日本大震災以降、  
神戸国際支縁機構に協力



マスコミは日本人について偉い、立派だと報道します。これほどになつたら暴動が起こつてもしようがないのに、ちゃんとルールを守つて秩序を保つていると言いますが、「ウソです」。どうぼうはいたし、あちこちで一晩で金庫はなくなりました。盗難はいた



ど、被災地において無料でしていることを聞かないでの、あえて言わしてもらうと述べます。

あるお母さんの詩を紹介されました。

『ごめんね。

「大事に使うんだよ」と言つて、図書カードが残つたままだつたね。

好きな本をいっぱい買つてやればよかつた、欲しいゲームがあつて、お年玉を数えてたね「少し足りないからもうちょっと貯めてから」と

「たの方の衝撃は大きい。」「お父さん、これからどうするの」と尋ねると沈黙しています。「お父さんから、『悪かった』という言葉を引き出したいのです」と、心に思っているだけではなく、あえて公然と謝ることを求めるのです。「お祈りして、一生を暮らしたい」と本人が言うのを待つのです。「お父さんだけが居残っちゃって、お母さん、お嬢さんたちがあつちの世界に行ってしまっているけれどお父さんのことは悪いとは思っていないから自分は一生懸命暮らすからあつちではお二人のことを仏さんにちゃんと守って暮らすように祈りするんですよ」と生きている間挙げるなどを勧めます。「70、80だからあとどれほど生きられるか分からんんですけど、これらの余生は茨の道だと覚悟させる」ことが

傾聴ボランティア

無量寿庵住職の語り部 吉川 潤

午前6時半、約束していたた  
樋口伸生氏が一行を迎えます。  
西光寺は800人の檀家の内、  
180人が犠牲になりました。  
樋口氏は渡波二丁目の無量壽  
庵の住職と門脇にある西光寺  
を兼ねています。前者は死者一  
名で現在復興の日処が立つて  
いません。500人が犠牲に  
なった門脇(200人)、南浜

るところであつたし、スーパーはこじあけられて中からいろんなものをみんな持ち出していました。火を付けたりこそしませんでしたが、シャツターを破つて、扉の鍵をこわして店のモノをカートにいっぱい載せて駐車場を押しているおばあちゃんたちがたくさんいました。家内も目撃して、「それ、もらつていいのですか」と尋ねると、「いいんじゃないの」と返事があつたと言われ、夫婦でがく然としました。

お母さん買ってあげればよかつた。ごめんね。

「お母さんの命を掛けても守るから」と12年間言つてきしたこと、守れなくてごめんね。

嘘ついちゃつてごめんね  
しゅうがいないのに  
お母さんが生きてごめんね。



法律相談初回無料。  
お気軽にご相談下さい。

宮永法律事務所  
みやながたかし まつだやすお  
弁護士 宮永堯史 弁護士 松田康生  
〒650-0016 神戸市中央区橋町1-2-14  
0120-997-181

守つてあげられなくてごめんね。母

この女性は、男の子の子ども二人と車で避難していた時に津波に流され、子ども二人が車の外に投げ出されました。波に揉まれて兄と弟が繋いでいた手が離れ「あんちやん怖い」と言つたのを最後に泥水に呑まれてしましました。母と兄が後に残され、自責の念に駆られ、現在も命日毎にお寺にお参りして気持ちを整えて暮らされているといいます。

「病氣で死ぬのはまだ死んでいく姿を見れるし、周りの人間が生きる意味を知ることができるが、震災で家族を亡くした人は、家族も家も思い出もみんなもぎ取られてしまい、心がバラバラになる。遺族の人が二年半がんばってきたことは、人前で涙を見せないことだ」と話されます。

自身も被災しながらも、犠牲者の供養に奔走された住職の話は、厳しい現実ばかりでした。建物や町など見た目の復興はわかりやすいですが、人の心の中の復興は時間がかかり、被災地の人々はそんな思いをずっと持ち続けている二年半を過ごしていることを忘れないでおきたいと思います。



不動産 売買・賃貸・管理・店舗は  
**本田商会**  
〒662-0051 西宮市羽衣町5-23  
電話：0798-38-7560  
FAX：0798-38-7561  
お気軽にご相談ください。





福島県の放射能、被曝、移住などについて、マスコミはとりあげますが、岩手県、宮城県の復旧、復興、再建がぜんぜんすんでいないことに去られようとしています。ちょうど、第31次の時、石巻市も台風18号の暴風雨でした。サンテレビの取材班が同行し、機構の小さな働きを放映されるので、機構の参加者もゼロでなく、続報道や他の協力団体がとりあげてくださっています。

**まだできるボランティア**

**被災地支援 汗かく夏**

玉の肌石鹼株式会社が輸送用車輛としてハイエース9人乗り+1名を贈呈くださいました。三木晴雄取締役社長に謝意を申し上げます。第34次から用いさせていただきます。

（ボランティア活動を企画する団体）  
・石巻市社会福祉会 027-674-36007  
・社会貢献部会 027-674-4132(火～金)  
・HPOPセカンドセンター 027-674-3566  
・大手町本拠地・東京事務所 027-770-0550  
・横河町NGO相談窓口センター 027-574-0701  
・ラブ・ア・ボランティア 027-574-0702  
・大和郡山社会福祉協議会 052-270-0001

（ボランティア活動を企画する団体）  
・農林漁業部会 027-782-36007  
・社会貢献部会 027-674-4132(火～金)  
・HPOPセカンドセンター 027-674-3566  
・大手町本拠地・東京事務所 027-770-0550  
・横河町NGO相談窓口センター 027-574-0701  
・ラブ・ア・ボランティア 027-574-0702  
・大和郡山社会福祉協議会 052-270-0001



「田んぼアート」の前で（第29次）

## 感謝

玉の肌石鹼株式会社が輸送用車輛としてハイエース9人乗り+1名を贈呈くださいました。三木晴雄取締役社長に謝意を申し上げます。第34次から用いさせていただきます。

## ご協力を感謝します。2013年7月20日～10月30日

酒巻喜代香、朝比奈恵子、岩村義雄、山下妙子、柴田正生、保田薰、飛田雄一、清野貴幸、森一郎、鈴木淳之介、飯原洋子、椿和彦、井上則子、水野雄二、落合公江、酒井彰(3)、酒井久美子、宮本要太郎、第4回世界宗教者平和講演会、高嶋俊男、ゲーベルひでのみ、清水富士雄、日野謙一、岡崎孝、春名純人、西上千栄子、恩田怜、石田朝子、溝口直志、小野寺脩、長瀬啓、椿和彦(3)、木村襲治、千葉幸一、三浦照子、白方誠彌、村田充八、尾形ヒサ子、宗教倫理学会、玉の肌石鹼株式会社、毛藤智夫、西佑華、山内一郎、佐谷文子、野田和人、松田エツ子、安立昇、塩屋キリスト教会、杉山紀之、川尻ユキエ、山足悠太、KISO牧場、山本智也、山本勝、中道澄春、みんなで「死」を考える会、富岡修平、垂水福音教会、神戸国際キリスト教会 合計 4,420,628円

### 収穫祭の支縁ありがとうございました。

ミヨシ石鹼株式会社、ひびき福祉会、高円寺、西尾竜子、小島茉美子、藤丸秀浄、藤木智代

## 編集後記

若者が神戸や他の地域から東北に出かけるのに毎月応募してくださるのは感謝です。若い参加者の中にはウォッシュレット、携帯、清潔など現代の便利ツールが使えるかどうか問い合わせてきます。普段、生活中で何もしなかった者が、電気がない、携帯が通じにくい、食物がぜいたくできないそんなボランティア生活に溶け込むのです。養殖や、稻の「稻架掛け」ではひもをきちんと結ぶ、のこぎりで竹を切るなどはじめてです。宿舎では、早朝から掃除をします。江川丈晴（第29次）さんは「きれいに残して立ち去る」をモットーにしました。そういふことを固くしぶる、同じ面でふかない、ほこりやちりは隅にたまるので、掃除機のヘッドを外して、物を移動しながら掃除機をかける、ごみを持って帰ることなども皆さん、生まれてはじめてのことです。孤立死、孤独、無気力な人たちに接したせいでどうか、黙々と取り組まれます。文化的機器、便利グッズ、せいたくを忘れて、昔ながらの農具、漁師の網、炭焼きなど先人たちの知恵に触れ、「田・山・湾の復活」はそんな楽しいところから実現していくと信じます。

山本智也

## 訃報

当機構の恩人であるお二人が逝去なさいました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

機構に震災直後からご指導、応援してくださっている新生田川共生会の有川善雄代表の葬儀が7月1日に行われました。11月2日、菅原洸人画伯が91歳で逝去されました。機構の代表は第33次から直接、葬儀に出席しました。続いて、天から見守ってくださっていることを確信しています。残されました夫人有川純子さん、菅原よ志子さんの上に慰めがありますように。

## (社)神戸国際支縁機構

### ・ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

### ・被災地への支援物資もお願いします。

会員（年度4月～翌3月）の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

### フィリピン災害緊急募金お願いします。

神戸国際支縁機構は、2001年に中東支援であるアフガニスタン、イラン、イラクの難民のために立ち上りました。ハイチ、チリ、スマトラ、朝鮮民主主義人民共和国、中国などにも訪問したり、支援のために仕えてきました。たいしたことができなくても、地球のコミュニティの一員であることを忘れないように心がけています。

フィリピンの被災を解決するには、机の上だけでは進展しません。だれかが行動しなければなりません。勇気をもって参加する青年を歓迎します。義援金もお願いします。

事務局長 本田 寿久

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口 2,000円/1年

賛助会員は、一口 5,000円/1年

・郵便振替 口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

フィリピン災害緊急募金には必ず「フィリピン」と書き添えてください。